

1. 指導内容(指導事項)を確認する ……「学習指導要領解説」を読みましょう！

- 指導すべき内容を指導者が分かっていなければ、子どもに力をつけることはできません。
- 「学習指導要領解説」には、下のように指導内容が示されています。
- アは、知識及び技能です。イは、思考力、判断力、表現力等です。



太陽と地面の様子との関係について、日なたと日陰の様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること。

(イ) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿りに違いがあること。

イ 日なたと日陰の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、太陽と地面の様子との関係についての問題を見だし、表現すること。

※解説書には、学びに向かう力、人間性等については、直接的には示されていません。

該当学年の目標の欄に、記載されている事柄を参考に作成する。

2. 単元の目標を設定する ……単元でどんな力をつけるのか明確にしましょう！

- 指導内容をしっかり理解した上で、単元の目標を設定します。
- 2行目が知識及び技能です。3行目が思考力、判断力、表現力等と学びに向かう力、人間性等です。



日なたと日陰の様子に着目して、それらを比較しながら、太陽の位置と地面の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

3. 単元の評価規準を設定する ……評価のための判断のよりどころを決めよう！

理科では、下のような評価規準のフォーマットが示されています。



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ (ア) を理解している。 ・ (イ) を理解している。 ・ (A) について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (A) について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現するなどして問題解決している。 ・ (A) について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (A) についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・ (A) について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

指導内容を確認しながら、フォーマットに則って設定します。



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること理解している。 ②地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿りに違いがあることを理解している。 ③太陽と地面の様子との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	①太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現するなどして問題解決している。 ②太陽と地面の様子との関係について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	①太陽と地面の様子との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②太陽と地面の様子との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○上表には、7つの評価規準があります。次に、この7つを単元の指導計画に従って分配していきます。



4. 指導と評価の計画を作成する

- 単元の評価計画を単元の展開計画と合わせて作成していきます。
- 全11時間の中で、何時間目にどの観点のどの評価規準について、どのような方法で評価するのか計画を立てます。



単元の指導計画（例） 小学校3学年の理科「太陽と地面の様子」

時	学習活動	評価規準	評価の方法
1	○屋外に出て影の写真を撮り、撮影した写真を比較し、問題を見出す。	<思考・判断・表現の①> 太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見い出している。	【記述分析】 問題を見い出せているかを確認する。
2	○問題を設定する 【問題】かげはどのようなところにできるのだろうか。	<知識・技能の③> 太陽と地面の様子との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	【記録分析】 影の形や長さ、向きなどを分かりやすく記録しているかを確認する。
3	○影ふみを午前と午後の2回行い、時間を変えて行った影ふみの写真を比較し、自分なりの問題を見出す。 ○どのようにしたら影ふみがより上手にできるか話し合う。	<思考・判断・表現の①> 太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現している。	【発言分析】 【記述分析】 問題を見出し、表現しているかを確認する。
(中略)			
10	○これまで学習したことをまとめ、影ふみのコツを考え、「かげふみブック」を作成する。	<知識・技能の①と②> ①日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること理解している。 ②地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿りに違いがあることを理解している。	【記述分析】 ①と②を、これまでの学習とつなげて理解しているかを評価する
11	○作成した「かげふみブック」を参考に、再度影ふみをする。 ○「かげふみブック」を見直す。	<主体的に学習に取り組む態度の②> 太陽と地面の様子との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【行動観察】 【記述分析】 学習や生活に生かそうとしているかを評価する。

5. 単元の指導計画(指導と評価の計画)をもとに、本時の評価規準を具体的に作る

【単元の評価計画にある第3時の評価規準】

太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現している。

【具体的にした第3時の評価規準】

具体的に作る

2回の影踏みを通して、時刻による影の位置の違いに着目して、問題を記述したり、疑問を感じたりしている。

A児
「かげの位置は、時間によって変わっているのだろうか」

「おおむね満足できる状況」と評価

B児
「木がゆれたら、かげもゆれるのか」

「努力を要する状況」と評価

- 評価計画に設定したものを、そのまま活用する場合もありますが、子どもの学習状況をつかむには、より具体化することが大切です。
- B児は、時刻による影の位置の違いに着目していません。だから、適切な支援が必要なのです。

もう一度写真を比較させ、2枚の写真から差異点や共通点を基に問題を見いだすよう支援を行う。

